

教育者としての「使命感」・「人間愛」・「創造力」を有する教員の養成を目指す

2025

秋

No.54

JUEN

【ジュエン】

Joetsu University of Education

国立大学法人
上越教育大学
Joetsu University of Education

学園だより

特集

国立大学では上越教育大学のみ!

**12年連続 教員就職率80%以上達成の
秘訣を探ってみた 第1弾**

プレイスメントプラザ (Pプラ) 編

PLACEMENT PLAZA

上越教育大学

教員就職率 全国トップクラス!

学校教育学部

83.7%

教員就職 **123名**
全国第2位

教職大学院

84.3%

教員就職 **97名**
(現職教員を除く)

※令和6年3月卒業・修了者の就職状況



「分かなさ」に
向き合い、考え抜く

研究室

ようこそ

学校を基盤にした子どもの
権利擁護活動を探る

私の専門は、養護教諭教育（養護教諭の実践や能力、養成・研修を分析的・総合的に探究する分野です。保健室と無縁な子ども時代を送った私がなぜ、養護教諭教育を研究しているのか。幾つか理由はありますが、養護教諭や保健室に対する見方・考え方が人によって異なり、「分かなさ」に悩んでいたためです。

養護教諭論や保健室論が市民権を得ておらず、確たる手がかりを求めにくかった30年ほど前、母校の大学院に養護教諭のための修士課程が設置されました。ここぞとばかりに受験し、意気揚々と入学した当時は「養護教諭に大学院教育ねえ……」等と言われることもあり、悔しい思いでした。

修士論文では、公正な社会の実現を志向する活動理論であり、ヘルスプロモーションの要素でもあるアドボカシーをキーワードとして、養護教諭の実践を分析・検証しました。以降、養護教諭の実践は「学校を基盤にした子どもの権利擁護活動である」と規定し、実相に迫るべく研究を続けています。「児童は、人として尊ばれる。児童は、社会の一員として重んじられる。児童

は、よい環境の中で育てられる。」研究を続ける上で常に立ち返るのは、児童憲章に示されているこの基本理念です。

実践・研究に対する
前向きさと直向きさ

現在、研究室には教職大学院生8名が所属しています。うち5名は養護教諭の勤務歴があり、他3名は養護教諭や保健体育科教諭の免許状をもつストレートマスターです。修了生を含め、研究室に集う皆に共通するのは、実践・研究に対する前向きさと直向きさです。大学院生の当初の課題意識は曖昧です。しかし、定例合同ゼミや個人ゼミ、自主ゼミを通して、判断としなかつた課題意識が輪郭を帯びはじめます。そしてリサーチ・テクエスチョンへと昇華されるにつれて、実践・研究として組み立てられます。自身の考えをロジカルに主張したり、議論し合ったりする経験が少なくない大学院生からすると、あれこれ尋ね、問うてくる「他者」との遭遇はハラハラすることでしょう。しかしそんな「コマめ」も含め、自他との問答や対話を通して、堂々かつ整然と自身の考えを表明できるようになります。迷い悩みなながらも思考・思索の手を緩めず、それぞれにけりをつけていく、その道のりを伴走できることは大きな喜びです。



出会いに恵まれた大学生活

領域での学び

私は、現代教育課題コースの発達と教育連携領域に所属しています。この領域では、教育を支える組織の在り方や学校現場にはどのような課題があるのか、児童の発達段階の特徴など、様々な視点から教育について学ぶことができます。また、3年次からは教育学系のゼミに所属しています。素敵な先生やゼミ生の方々と一緒に、教育について考える濃い時間を過ごすことができます。

子ども食堂スタッフサークル代表として

今年度から子ども食堂スタッフサークルの代表を務めています。サークルの活動では、上越市と妙高市で開催されている子ども食堂のお手伝いをさせていただいたり、学習会の運営をしたりしています。昨年度は第四北越銀行賞を受賞したことをきっかけに、子ども食堂のスタッフの皆さんや子どもたちと一緒に横断幕を作成するという初めての取り組みを行いました。今年度も新たな活動の企画をしている最中です。サークルとしての規模が大きくなり、活動の幅も広がっている今、一個人として活動に参加しながらも、代表という立場から全体を調整しなければならないことの難しさを実感しています。それでも、先輩方やサークルのメンバー、顧問の先生など多くの方々に支えられながら、代表としての役割を果たすことができているのではないかと思います。



辿り着いた場所で

振り返ってみると、受験期は辛いことの方が多く、自分を責めてばかりの日々でした。しかし、その経験が今に繋がっているのだとしたら、過去の自分を肯定してあげられるような気がします。こう思えるようになったのは、上教大だからできた経験、出会えた人たちのおかげです。大学生生活も残り1年半となりました。講義もゼミもサークルも、自分で選んだこの道を最後まで全力で駆け抜けたいと思います。



学部3年
現代教育課題コース
(発達と教育連携)
北村 莉子 さん



各種講座や教員採用試験などの情報は、Pプラの掲示板をチェック！

プレイスメントプラザ(Pプラ)は、学生及び卒業生・修了生の就職に関する指導・支援を行うことを目的とした部署の名称です。

Pプラには、教員採用試験や各種職種の就職試験の受験レポート、求人案内などの資料をそろえており、公立学校の校長職や教育行政を経験した特任教員(キャリアコーディネーター)からきめ細やかな指導を受けることができます。

学生は、自主学習や学生同士の情報交換の場としてPプラを活用しています。キャリアコーディネーターから就職試験への悩みを聞いてもらったりしながら、それぞれの夢の実現に向けてがんばる姿が見られます。Pプラでは、学生のがんばりを支えるサポート体制を整えています。

就職支援の拠点！ プレイスメントプラザとは

Pプラ3つの特徴！

盤石のサポート体制！

1 経験豊富な「キャリアコーディネーター」による個別相談・指導

キャリアコーディネーターが、経験豊かな学校教員の立場から、学生一人ひとりの志望内容に合わせて丁寧な指導を行っています。

論文や自己PR文の添削指導、個人面接や集団討論、模擬授業の指導等に幅広く対応し、就職に関する悩みや不安に対する相談も受け付けています。予約制で1回30分です。

2 充実した「就職支援プログラム」

▼詳しくは次ページへ！

教員採用試験対策として、筆記試験対策等の座学講座の開催や、模擬面接指導等の実践練習、自治体の担当者による教員採用試験説明会の開催など、さまざまな支援を行っています。

3 「豊富な資料」と「教員採用試験学習支援システム」などによる学習支援

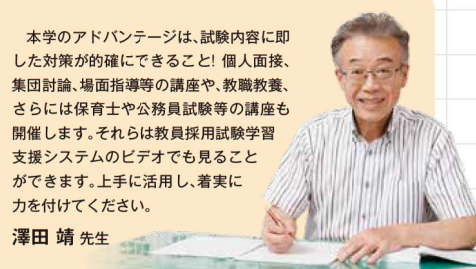
Pプラには、全国の公立学校教員採用試験に対応できるよう、各自治体の実施要項や過去問題集を取りそろえています。その他、就職進路に関する豊富な資料を自由に閲覧することができます。これらの資料や、教員採用試験対策講座のビデオ等は、教員採用試験学習支援システムでいつでも視聴可能です。また、卒業修了後も、在学生と同様の支援を受けられます。

キャリアコーディネーターが強力にサポート！



就職・進路に関する問題集等の豊富な資料がわかりやすく整理され、笑顔の職員が優しく丁寧に対応します。特に参考になるのが先輩方直筆の受験報告書。的確な情報と、後輩への愛情が詰まっています。過去に学びながら、なりたい未来を共に創っていきましょう。

阿部 勉 先生



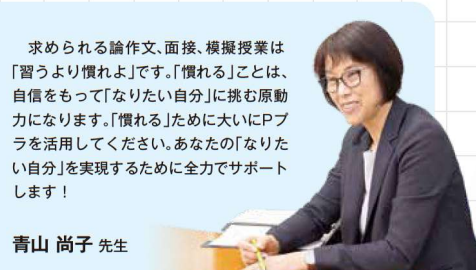
本学のアドバンテージは、試験内容に即した対策的確にできること！個人面接、集団討論、場面指導等の講座や、教職教養、さらには保育士や公務員試験等の講座も開催します。それらは教員採用試験学習支援システムのビデオでも見ることができます。上手に活用し、着実に力付けてください。

澤田 靖 先生



相談体制が整っています。教職への不安を抱える学生には、経験を基にやりがいや魅力を伝えています。採用試験に向けて試験内容を確認し合い、一緒に学習計画を立てています。親身に寄り添いながら、夢の実現をサポートします。積極的な活用が勝利への近道です。

宮野 正則 先生



求められる論文、面接、模擬授業は「習うより慣れよ」です。「慣れる」ことは、自信をもって「なりたい自分」に挑む原動力になります。「慣れる」ために大いにPプラを活用してください。あなたの「なりたい自分」を実現するために全力でサポートします！

青山 尚子 先生

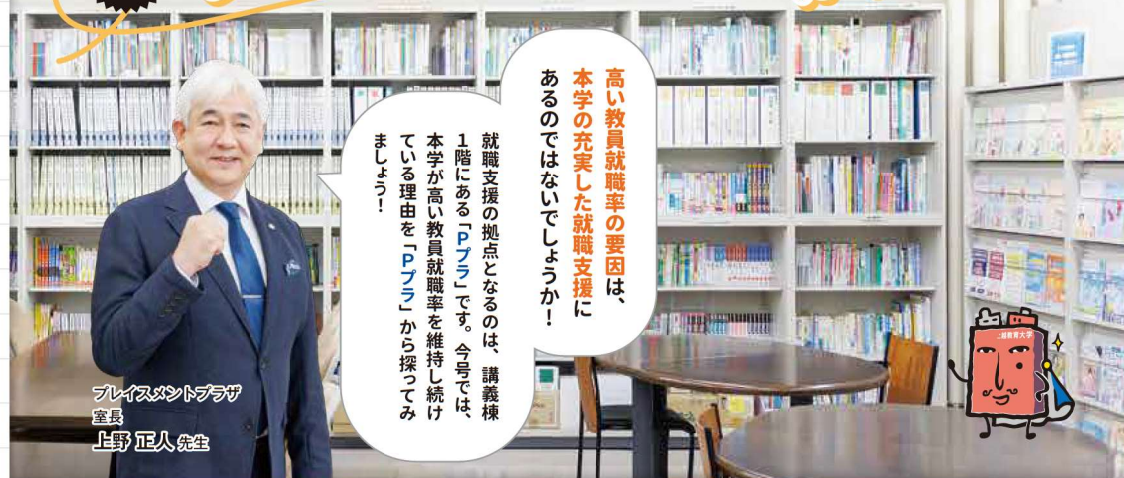
国立大学では上越教育大学のみ！ 12年連続 教員就職率80%以上達成の 秘訣を探ってみた

12年連続で教員就職率80%以上を達成している本学。その背景には、学生の努力はもちろん、豊かなカリキュラム・少人数制授業・1年次からの教育実習など「教育課程」における支援体制、そして就職支援の拠点「プレイスメントプラザ(Pプラ)」の存在が挙げられます。

今回はその中でも「Pプラ」に着目し、教員就職率の高さの秘訣を探ってみました！

第1弾

プレイスメントプラザ (Pプラ)編

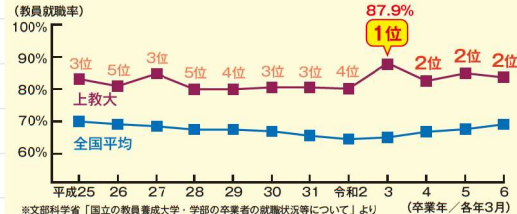


プレイスメントプラザ
室長
上野 正人 先生

高い教員就職率の要因は、
本学の充実した就職支援にあるのではないだろうか！

就職支援の拠点となるのは、講義棟1階にある「Pプラ」です。今号では、本学が高い教員就職率を維持し続けている理由を「Pプラ」から探ってみましょう！

上越教育大学 学校教育学部卒業者の教員就職率推移



教員就職率は全国平均を大きく上回り、直近では83.7%で、国立の44教員養成大学・学部中第2位と高い水準を維持。過去12年の平均は82.4%にのびります。

※この頁の教員就職率とは、卒業者から大学院等への進学者と保育士への就職者を除いた人数を母数とした場合の割合

特集

全国トップクラスの実績の裏にある、本気の支援！

左の「教員就職率推移グラフ」のとおり、本学学校教育学部の教員就職率は、12年連続で80%以上・全国5位以内という高水準を維持しています。それを支える理由の一つが、教員を目指す学生を教員採用試験直前まで一貫して強力にサポートする「Pプラ」です。

数字の裏にある、本気の支援をのぞいてみましょう。



学部生

学部4年
数科内容構成コース
(自然科学・数学)
後藤 誠道さん

教員採用試験に向けて不安を感じ、Pプラの先生方のメリハリある親身な面接指導が心の支えになりました。アドバイスを受けるたびに、自信と方向性が明確になっていく実感がありません。試験当日も「Pプラでやってきたことを出せば大丈夫」と思え、落ち着いて臨めました。

また、各自自治体の過去問や面接資料が豊富にそろっている点も非常に魅力的です。教員を目指す学生にとって、Pプラは力強い味方であり、安心して学べる場所です。

voice!

利用者の声

実際に利用してみても、「Pプラ」はどうですか？

大学院生

大学院2年(免P)
学校教育実践研究コース
(学級経営・授業経営)
阿部 翠さん

大学院生として就職活動を進める中で、仲間と繋がりにくいという不安を感じていました。そんな中、Pプラの先生方の存在は大きな支えとなりました。先生方は実際に学校現場を経験されているため、現場のリアルな様子を知ることができ、助言にも説得力があり、安心してなんでも相談することができました。

こうした支援を通じて、大学院で学んできた自分の専門性を社会や教育現場でどのように活かせるか考えるきっかけとなり、将来の進路についても、より具体的なかつ前向きに描けるようになりました。



プレイスメントプラザ(Pプラ) 利用案内
利用時間/8:30~17:00(土・日・祝日を除く)
連絡先/電話 025-521-3597
Eメール recruit@juen.ac.jp

なんでもお気軽にご相談ください!

個別相談では、学生に寄り添った指導します。就職資料コーナーの「就職試験受験報告書」は必見!先輩が受験した就職試験の詳細や後輩へのアドバイスが満載です。

学長からのメッセージ

学生の意欲と採用試験に向けた多様な支援

上越教育大学学長
林 泰成

本学のすべてのカリキュラムは教員養成につながっています。したがって、授業にまじめに取り組むだけでも、教師になるための学びは成立します。

しかし、高い教員就職率が維持できているのは、まずは、学生の皆さんの教師になりたいという強い意欲の成果です。加えて、本学には、それを支えるさまざまな仕組みがあります。今回はその一つとして、Pプラを取り上げました。

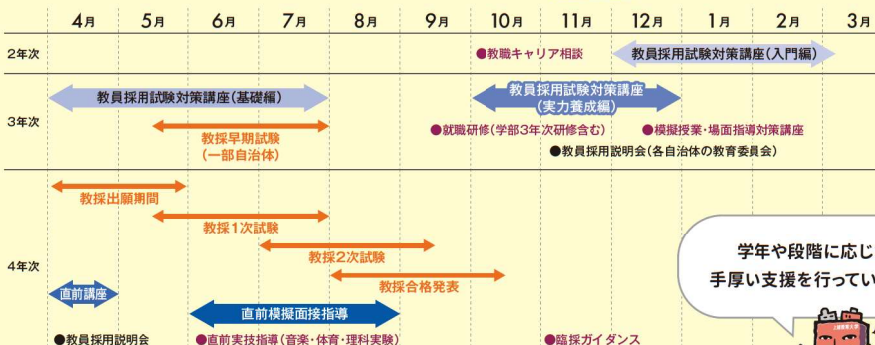
Pプラの先生方は、教員としての長い経験をベースに、教師になろうとする皆さんを支援します。なかには、本学の大学院で学んだ方もいて、後輩の皆さんが教師になることを強く願い、応援してくださっています。教員採用試験など恐れることはありません。教授の不安は、Pプラに相談に行きましょう。

教員採用試験対策講座

教員採用試験に臨む心構えや学習方法を学ぶ基礎編、教職一般教養の知識を深める実力養成編など、段階に応じた筆記試験対策の講座を開講しています。講座の様子は、教員採用試験学習支援システムで何度も見返すことができ、自身のペースで学習できます。



教員採用試験対策スケジュール



学年や段階に応じた手厚い支援を行っています!



模擬面接指導

キャリアコーディネーターを試験官役に、繰り返し個人面接練習を行います。また、集団面接・討論対策講座が開講され、実践的な練習で経験を積んでいきます。自信を持って面接に臨めるようキャリアコーディネーターが親身にアドバイスします。



就職研修

初等教育実習を終えた時期に、就職研修を実施しています。学生自らがキャリア形成に向けた道筋を思い描けるよう、学習計画の立て方について指導を受けたり、教員採用試験に合格した先輩方の体験談の発表を聞いたりして、就職活動への意欲を高めます。

直前実技指導

教員採用試験で課されている実技試験対策として、理科実験や体育の各種目、音楽について、本学教員が実技指導を行います。実技指導では、受験ならではの注意するポイントなどを細かく確認します。



みんな「学びのひろば」の活動準備!



課題に集中!

学食 (百の花食堂)

- 1 中田 陽 学部2年
- 2 食堂
- 3 友達と話したりするときは真ん中、1人で課題に集中するときは窓際の角のあたり
- 4 お昼の時間にごはんを食べるのはもちろん、授業の空きコマなど暇な時に友達とお喋りしたり、学びのひろばの活動をしたりしています。また、課題に集中したいときは、1人で窓際の角のあたりに座って黙々と取り組んでいます。



ごはんを食べるだけじゃない! 学食はみんなの大人気スポット!



学食は食事をするだけでなく、学生が集まって勉強や学びのひろばの準備などを行う憩いの場となっています!



POTATO



- 1 小菅 あゆみ 学部4年
- 2 POTATO
- 3 全部
- 4 学生会館にも近くアクセスしやすい場所のため、サークルの話し合いや学祭の準備に使用します! また、ホワイトボードや冷暖房完備なので、作業がはかどる! よく友達と一緒に採用試験の勉強をしたり、課題をしたりしています!

編集後記

初めて広報誌の編集に挑みましたが、テーマを設定して色々な方に協力していただいて作り上げたこのページは私たちにとって最高のものになりました。ぜひ幅広い世代の方に見ていただけたら嬉しいです!

内藤 蒼太郎
学部2年

小林 真子
学部2年



みんなで毎日どこで何してる?!

学生がつくる上教大生のひろば

上教大生の皆さん、大学構内のどこで何をして過ごしていますか?

「上教大生は、空きコマに何をしているんだろう?」
「どこで課題に取り組んでいるんだろう?」
上教大生のそんな「リアルな過ごし方」を聞いてみました!

- 質問 ① 名前・学年 ② よく行く場所 ③ 特にお気に入りの場所
④ そこで誰と何してるか or どんな時間を過ごしてるか

附属図書館



附属図書館 の下(1階)



- 1 豊岡 和咲 学部2年
- 2 附属図書館の1階
- 3 日が差し込んで外が見える真ん中
- 4 図書館の1階は基本的に静かで落ち着いた雰囲気があります。緊張感なく自分のペースで勉強に集中することができます。

- 1 吉澤 咲希 学部2年
- 2 附属図書館
- 3 2階の角の自習スペース
- 4 静かなので1人で課題をしたり勉強をしたりしています。私のお気に入りの窓際の席は天気の良い日だと柔らかな自然光が差し込み課題がはかどります。図書館には教科書や指導書、絵本などさまざまな書籍が充実していて模擬授業や実習のための準備にとっても役立ちます。



コンソートの近くの席が気に入り!

- 1 白田 野乃華 学部2年
- 2 附属図書館
- 3 広い机の席
- 4 課題や勉強でよくパソコンを使うため、すぐに充電のできる広い机の席を気に入っています。家とは違い集中して勉強に取り組めるので図書館はお気に入りの場所です!



バドミントン部

活動内容

私たちバドミントン部は、初心者から経験者まで共に切磋琢磨しながら、市民戦や北信越大会などに向けて日々活動に取り組んでいます。現在、男女合わせて30名ほどが所属していて、基本的に平日は2時間半、休日は3時間の活動となっており、月曜日、水曜日、日曜日の週3回、学内の体育館で元気に練習しています。初心者も経験者も関係なく、お互いにアドバイスを送り合いながら成長を目指しており、技術面だけでなくチームワークや礼儀も学べる場となっていると思います。

笑顔あふれるイベント

バドミントン部の魅力は、練習だけでなく部内で行われる交流イベントにもあります。4年生の先輩方をバドミントン部から送る会である「追いコン」では、結婚式にてみんなでスーツを着て食事をしたり、お話ししたり、各学年の出し物をしたり、4年生の保護者の方

らの手紙やメッセージが読まれたりと、笑いあり、涙ありのとても感動するイベントとなっています。また、他にもBBQや運動会、忘年会、新年会など、様々なイベントがあり、学年や性別の垣根を越えて仲が良く、和気あいあいとした雰囲気が特徴となっています。そのため、「楽しい大学生活を送りたい」と思っている方にはぴったりの部活だと思います！バドミントン部のみんなと一緒に、上越教育大学の大学生活の楽しい思い出を作りませんか？バドミントンに少しでも興味がある方は、ぜひ気軽に参加してみてください。



DATA 令和7年7月現在

部員数/28人

活動日/月・水・金曜日

活動場所/体育館

活動実績/

夏季北信越大会女子シングルス4位、全国教育系大学バドミントン選手権大会女子団体2位、女子ダブルスA優勝、女子シングルス2位、男子シングルス3位、男子ダブルスB優勝

【取材協力者】

学部3年

藤田 葉那、毛利 夢

放課後workshopヨリ・ミチ

DATA

令和7年7月現在

部員数/11人

活動日/

月2回、水・金曜日(準備日あり)

活動場所/

上越市高田地域の町屋、

美術棟206

活動実績/

年間12回のワークショップを

実施、参加者は毎年30名程度

【取材協力者】

大学院2年(美術分野)

菊地 恵

「放課後workshopヨリ・ミチ」とは？

放課後workshopヨリ・ミチでは、高田地域にある町屋をお借りし、6月~12月の月2回(年間12回)ワークショップ「ヨリ・ミチまちや」を実施し、準備等を含めた活動をおこなっています。「ヨリ・ミチまちや」は「子どもたちが「ものづくり」を楽しみ、地域に親しむ場所」として開設しており、参加対象は地域の小学校3~6年生が中心になります。今年度は大学院生8人、学部生3人で活動していますが、その他にボランティアなどで参加してくれている学生がいます。

活動の特徴

ヨリ・ミチの大きな特徴といえば、美術教育研究室、技術教育研究室、家庭科教育研究室、特別支援教育研究部の4つの研究室が協力して活動を行っている点です。それぞれの研究室が月ごとに活動内容を考案し、ワークショップの企画・運営をしています。

そのため、毎月様々なワークショップを体験できるという点で、参加者だけではなく、私たちスタッフ側も楽しく活動ができます。

特に、それぞれの分野で特色ある活動が考案されるため、普段使うことのない用具を使ったり、新しい発見があったりすることが多く、毎月の活動でどのような「ものづくり」が展開されるのか、スタッフとしても毎月の楽しみになっています。

放課後workshopヨリ・ミチでは、普段見ることができない学校の外での子どもたちの姿や、地域とのかかわりについて実践的に学んだり、ワークショップの企画・運営側として参加したりすることができます。「これはできるかな?」「こういうことをしてみたいけど、自分一人では難しそう……」という時でも、それぞれの得意分野が合わさることのできることも多いです。ワークショップの一員として活躍したい方、子どもが好きな方はぜひ参加してみてください!



上越教育大学

附属幼稚園

附属学校だより

太陽・土・水が 大好きな子ども

幼児にとって、遊びは学び。本園は「生きる力の基礎」を育むため、幼児の主体的な遊びを大切にしています。職員は、「幼児は自ら育とうとする存在である」という子ども観のもと、幼児の育ちを支える保育に、日々愛情と情熱を注いでいます。



園舎の裏は大きな森。思い切り自然と親しんでいます。



異年齢でかかわって遊んでいます。



園庭の木になる実は、採って食べることもできます。



四季折々の遊びが楽しめます。



生き物を捕まえて遊べる池があります。



どろんどろん大好きな子どもたちです。



いろいろな道具を使って遊んでいます。



子ども主体の保育について一緒に考えませんか

本園では、子ども主体の保育を目指し、他園や他校種との交流を行っています。

研究会の他に、月に1回程度の公開保育とオープンカンファレンスを行っています。参加を希望される方は、お気軽に園にお問い合わせてください。

HPはこちら▶



本園では令和5年度より研究主題を「つながる保育」とし、園の垣根を越えた出会いと学び合いの中で、より質の高い保育のあり方を探ってきました。研究3年次である今年度は、研究副題を「つながりをつくる保育者のあゆみ」としました。1日頃の保育実践をより丁寧に省察することを通して、「つながる保育」が本園の保育の質の向上にどうつながっているのか、また、交流した園の声を集めることを通して、地域の保育の質の向上にどうつながったのかを考察していきます。これらを通して「つながる保育」にはどのような価値があったのかを見たいと思います。

令和7年9月10日、26日の幼児教育研究会において、これまでの研究成果を発信提案いたします。研究を通していただいた様々なご意見、ご感想を今後の保育に活かしていきます。



修了生からの
お便り



「わたし」と向き合い、
広げ、深めた学び舎

「それはどういった」
ゼミの先生からよく返ってきた言葉です。時にはご飯を食べながら、時には夜中まで。先生と語り合ったり、問答したりした日々は、今でもありありと目に浮かぶものです。

中学校教諭を志した私は、「教育現場に出る前に、専門的な引出しを増やしたい」と思い、文教大学卒業後、上越教育大学院修士課程に進学しました。大学院は、語学・文学・教育・書写といった分野から多角的に「国語」を考える2年間でした。ある時はテキストと、ある時は大学院の先生方と、対話を重ねつつきました。「なんとなく」ではなく、「ほんとうに？」と一つ一つの言葉と向き合った時間は、かけがえない私の財産です。修士では、終助詞「わ」の研究に励み、論文の執筆をしました。ひたすら、近世後期の酒落本・滑稽本・人情本を読み漁りました。明くる日も明くる日も会話文の中から「わ」を探しました。「わ」が登場しない日は、残念でなりませんでした。しかし、「わ」を集めなければ、研究は進みません。もどかしさと喜びとを往還しながら過ごした日々を決して忘れることはありません。

初めは、文献の字面を追うことに必死でした。しかし、読み重ねていくうちにテキストの裏にある文化や風土、作者の

上教大 なんでも 掲示板

「教員養成学」構築に向けた 本学の取組

本学では、地域創生の中核拠点として、地域における教員養成の在り方を研究し、その総体としての質的改善に資することを目的とした「教員養成学」の理念、内容、方法等の体系化を目指して組織的研究に取り組んでいます。

令和7年3月には、「教員養成学」構築に向けた研究の最初の成果物として、「教員養成学を考える—上越教育大学からの発信—」を刊行しました。また、7月16日(水)には、「グローバルに考える「教員養成学」研究の現在(いま)」と題して、『教員養成学』構築に向けた国際シンポジウム』をハイブリッド形式で開催し、学内外から100名以上が参加しました。



▲教員養成学シンポジウム 総合討論



◀書籍
「教員養成学を考える—上越教育大学からの発信—」

若手教員を対象にした「新米先生☆放課後サロン」を開始

今年度より、本学学校教員養成・研修高度化センターにおいて、地域の若手教員の教師力向上を図るとともに、安心感をもたせ向上心を高めることを目的に、1~3年目の若手教員を対象としたセミナー「新米先生☆放課後サロン」を開始しました。このセミナーは全12回の開催で、中堅教員がコーディネーターとなり、月別テーマをもとに日頃の思いや課題について話し合います。リラックスした雰囲気の中で語り合い、悩みを解決することを通して、教員同士の繋がりが作りにも貢献しています。



糸魚川市や柏崎市からもオンラインで参加

上越市の渇水対策のための 井戸水供給を実施

令和7年8月、上越市における渇水対策のため、本学消雪用井戸水の正善寺浄水場への供給を実施しました。



給水管の設置状況



近藤 育海
(こんどう いくみ)

茨城県つくば市出身。文教大学教育学部学校教育課程国語専修卒業。令和3年度から2年間、上越教育大学院修士課程学校教育深化コース(文理深化・国語)に在籍。修了後、新潟県の公立中学校教員として勤務。令和5年度より湯沢町立湯沢中学校に着任。令和6年度、上越教育大学附属中学校研究協力者を経験。

意図が見えてきます。「読むことっておもしろい」中高生の時、読むことが苦手だった私は感動しました。まるで、ぼやぼやしていた霧が少しずつ晴れていくような感覚です。これらの経験は全て今の授業づくりに生きています。「わ」を巡る2年間は、自分と向き合い、広げ、深められた貴重な時間となりました。

共に学んだ先輩・同期・後輩、非常勤講師の私を支えてくれた附属中学校の生徒・先生方、成長の機会を生み出してくれた上越教育大学、そして何よりも茨城から背中を押し、支えてくれている家族に心より感謝申し上げます。2年間で培った見方・考え方は目の前のすべての子どもたちへ還元していきます。

J-style 通信

道徳教育について思うこと

学長 林 泰成



私は、大学・大学院では哲学や倫理学を学びましたが、本学に着任後は、主として道徳教育を教えるポストで仕事をしてきました。その間、小・中学校で行われていた「道徳の時間」は、国の政策の変更によって「特別の教科 道徳」とな

りました。道徳教育は、戦前の修身教育への反省もあってか、マイナスイメージでとらえられることも多かったと言えます。しかし、よく考えてみれば、あいまいな人間関係の在り方のようなものまで含めて、すべてを法律で定めることは不可能です。だから、道徳教育は、民主的な社会においても必要なものなのです。では、現在の道徳教育に全面賛成かと言えば、検討すべき課題はたくさんあると思っています。たとえば、徳と道徳的価値という概念の違いもずっと気になっています。徳というのは、友情とか、誠実とか、正直とか、親切とかの概念を意味しています。しかし、現在の学習指導要領では、徳あるいは徳目という言葉は使われていません。それが、戦前、戦中の徳目主義的な修身教育をイメージさせるからかもしれない。それに代えて、指導要領では、道徳的(諸)価値という表現が用いられています。しかし、徳と道徳的価値は重なる部分もあるものの、微妙な意味の違いがあるように思います。英語でも、virtueとmoral valueは使い分けられているように感じます。徳は、道徳的な卓越性です

が、道徳的価値はその基準のようなものにとらえられます。たとえば、「彼は正義の人だ」と言えば、彼は正義という徳を身に付けていて正しい行為をする人だという意味で、徳としての正義に言及されています。一方、「彼が貧しい人を支援するのは、それが正義だと考えているからだ」と言えば、この場合の正義は、彼の行為の判断基準としての正義に言及しており、道徳的価値としての正義が語られています。思い切って、この区分を取り入れて、より普遍性の高い道徳的価値と、個人が身に付けるべき卓越性としての徳(これはフランスの性格特性という言い方もできます)を分けて位置づけてはどうかと私は考えています。道徳教育には、専門教科としての教員免許状はありません。教員はだれもが道徳」を担当する可能性がありますので、教職を目指す学生の皆さんにも考えていただきたい課題だと思っています。自分は高校教員を目指しているので関係ないと思った皆さんは、高等学校学習指導要領の第1章を読んでください。高校でも道徳教育の全体計画を作成し、道徳教育推進教師が中心となって全教員が協力して推進することになっています。

上越教育大学同窓会



上越教育大学同窓会 評議員会報告

7月6日(日)に上越教育大学を会場として、同窓会評議員会をハイフレックス形式で開催いたしました。同窓会は、会員相互の親睦と啓発を図り、教育に関する諸問題について意見を交わす場を提供するとともに、大学の発展・充実に貢献することを目的に活動しています。その中で、評議員会は、入学年度や所属支部といった垣根を越え、活発な意見交換ができる貴重な機会となっています。今回は、全国に16ある支部同窓会のうち、宮城、群馬、埼玉、新潟の各支部代表からご出席いただきました。また、群馬県支部からは、1986年の支部創立以来発行されてきた研究紀要の最新号をご惠贈いただきました。



評議員会は、山本浩昭会長の挨拶に続き、参与の林泰成学長よりご挨拶をいただき、その後、各支部司会からの近況報告がありました。議事では、前年度の事業及び決算報告、新年度の役員選出、事業計画、予算案についての審議が行われ、すべて承認されました。予算案では、

学園祭助成費と同窓会PR活動経費を増額すること等が認められました。最後に、遠藤和英副会長の挨拶をもって、本年度の評議員会を閉会いたしました。2028年に大学は創立50周年を迎えます。同窓生それぞれが各現場で、未だかつてない経験や変化の激しい日常に直面されていることと拝察します。だからこそ、学びの場である大学との連携のあり方を再考した同窓会活動が求められていると考えます。「百年の計」ともいわれる教育。その半分を迎える時に、「懐かしい顔と再会し、笑顔で未来の教育について語り合える同窓会」「同窓生一人ひとりがそれぞれの現場で元気に時を重ねていくことに、何らかの貢献ができる同窓会」であり続けたいと考えています。夏の一日、ご出席くださった皆様、準備・運営にご尽力くださった総務課の皆様、評議員会の開催にご理解ご協力を賜りました全ての皆様に、心より感謝申し上げます。

上越教育大学同窓会 事務局

修了生の住所等をお知らせください



転居・転職・結婚等により個人情報の変更があった場合は、お知らせください。

ご寄附のお願い - 教員養成を通して皆様の思いを将来ある子どもたちに -

上越教育大学リサイクル募金

ご寄附の詳細などはこちら▼
kishapon.com/juen/

上越教育大学 リサイクル募金

検索



上越教育大学基金

ご寄附の詳細などはこちら▼
juen.ac.jp/300किन/

上越教育大学 基金

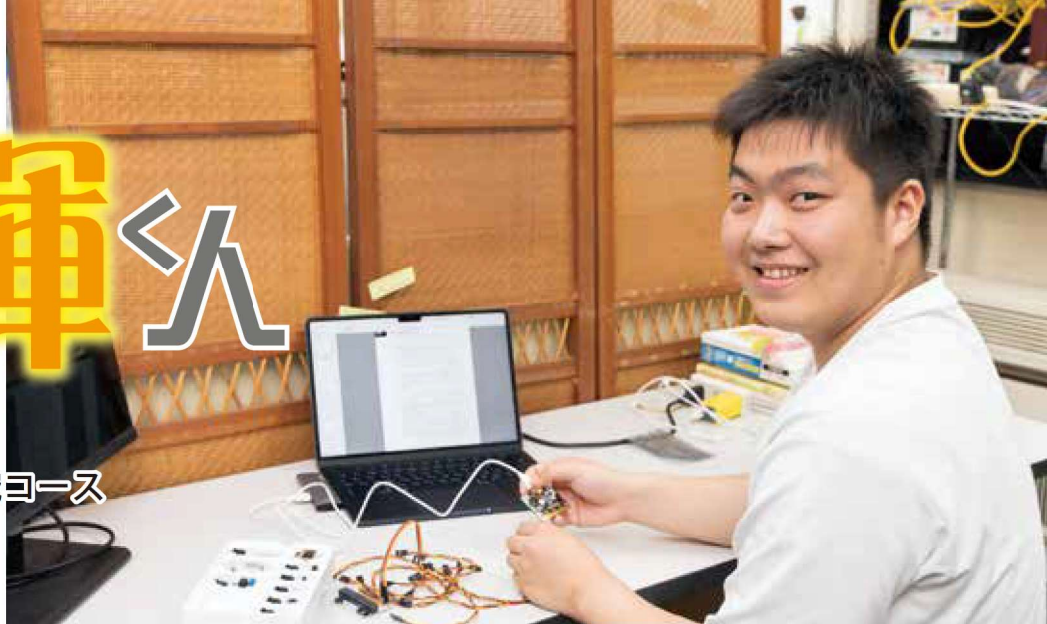
検索



インタビュー 大学院で

輝く人

大学院2年
教科教育・教科複合実践研究コース
生活・健康領域(技術分野)
みずのたいむ
水野 大夢さん



入学を決めた背景

私は高校時代から中学校で数学を教える教員になりたいと考えていました。その為、中学校数学の教員免許を取得できる大学への進学を目指していたのですが、部活動引退後の切り替えがうまくいかなかったことと、3年間勉強をさぼったツケを取り戻せなかったことで、目標としていた大学への進学が叶わず他大学へ進学しました。

その後、進学した大学で教職課程を担当されている先生から本学の大学院進学への提案を受け、教職に就く前に教育について専門的に学んでおきたいという思いと、目標としていた中学校数学の免許取得を再度目指そうという思いで進学を決めました。

本学での学び

ここでは学生・研究者・現場と様々な視点から学ぶことができるため、より実践的な学びを得ることができていると思います。1年生の前期は指導力が高く情熱のある指導教員の

方々から専門教科や必修の授業を受けることができ、専門教科の理解を深めながら教育に関する学びを深めることができました。後期に入ってから学校支援プロジェクトで実際に学校に足を運ばせていただき、前期で学んだ知識を生かして実際の課題に向き合う機会があります。また、自分が所属する分野では非常勤講師として実際に現場に立って授業をさせていただき、学生でありながら実践経験も積むことができました。8月には学会発表も行う等充実した日々を過ごしています。自分のように教育系の学部以外から来る学生は苦労も多いとは思いますが、本当に多くのことを学んで成長することができる場だと思います。

最後に

実際に現場に立つことになってもここで学び考えたことを生かして現場でも学び続ける姿勢を忘れず、生徒の成長をサポートできる教員を目指して努力を続けていこうと思います。



インタビューを終えて

水野さんは院生仲間と、共に学びを深め合う仲間です。学部の専門が違うのでお互いに違う視点から見た意見を交換することができ、お互いに高め合っていると思っています。自治体は違いますが私も来年教員になるのでお互いに切磋琢磨してよい教員を目指していきたいと思いました。

■ 聞き手・文(写真左)

教科教育・教科複合実践研究コース
生活・健康領域(技術分野)
須藤 那紘

免P = 教育職員免許 取得プログラム

本学大学院入学者で、教員免許を持っていない方や他校種、他教科の教員免許を取得したい方を対象に、長期履修学生制度を利用し、2年分の学費で3年間在学し、大学院の教育課程と学部の教員養成カリキュラムの単位を修得することにより、教員免許状を取得することができるプログラムです。



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

アンケートにご協力ください
公式ホームページにおいて本誌に関するアンケートを実施しています。左のQRコードを読み込むことで、携帯端末からもご回答いただけます。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で10名様に粗品をお送りいたします。

